

# お知らせ

## 防火管理者(甲種)資格取得講習会

昨年10月、大阪市で発生した個室ビデオ店火災では、ずさんな防火管理体制や防火意識の希薄さから15人の死者を出す大惨事となりました。

今一度、防火管理の重要性を十分認識し、防火管理を徹底していかなければなりません。

防火管理者は、各事業所等の防火管理上必要な業務を適切に遂行できる、管理的または監督的な立場の人で、防火管理に関する講習会の課程を修了し、資格を取得しなければなりません。

今年度も2回開催しますので、この機会に資格を取得しましょう。

	第1回	第2回
講習日	平成21年6月18日(木)・19日(金)	平成21年10月8日(木)・9日(金)
定員	65名	65名
会場	雲南消防本部	

※ 詳細については、雲南消防本部 予防課(TEL0854-40-0139)にお問い合わせ下さい。



## 第22回少年消防クラブ員研修会

雲南防火委員会では、少年期における防災教育の一環として、小学校4年生以上を対象とした少年消防クラブ員研修会を開催いたします。多くのクラブ員の参加をお待ちしています。

日時	平成21年7月23日(木)	会場	雲南消防本部
申し込み方法	各小学校を通じて、申し込んでください。(6月中旬)		
研修内容	昼食作り、消防車・救急車などの見学 消火訓練、地震・煙・放水体験、救急法など		

## 女性防火クラブ員 普通救命講習会 開催のお知らせ

病気や事故などで一刻を争う救急患者を救うには、救急車が到着するまでの間、その場に居合わせた人による適切な応急手当が最も重要になります。

雲南防火委員会では、応急手当の重要性について理解を深めていただくため、(財)日本防火協会が推進する、女性防火クラブ員を対象とした普通救命講習会を、9月中旬の日曜日に開催します。

※詳細については  
雲南消防本部 予防課  
(TEL 0854-40-0139)  
にお問い合わせ下さい。



## 平成21年度危険物取扱者・ 消防設備士試験日程について

〈危険物取扱者試験日程〉

試験日	試験地	願書受付期間		試験種類
		受付開始	締切	
平成21年 6月14日(日)	松江市	4月15日	4月28日	甲種、乙種1~6類、 丙種
	出雲市	4月15日	4月28日	甲種、乙種1~6類、 丙種
平成21年 11月15日(日)	松江市	9月15日	9月29日	甲種、乙種1~6類、 丙種
	出雲市	9月15日	9月29日	甲種、乙種1~6類、 丙種
平成22年 2月7日(日)	松江市	12月11日	12月24日	乙種1~6類
	出雲市	12月11日	12月24日	乙種1~6類

〈消防設備士試験日程〉

試験日	試験地	願書受付期間		試験種類
		受付開始	締切	
平成21年 8月23日(日)	松江市	6月25日	7月9日	甲種特種・1~5類、 乙種1~7類

受験願書及び試験手数料払込書は消防本部及び消防署にあります。詳細については(財)消防試験研究センター島根県支部(TEL 0852-27-5819)にお問い合わせ下さい。

## 生石灰火災に要注意!!

みなさんは生石灰(酸化カルシウム)をご存知でしょうか?

生石灰は工事現場で土壌改良材として使用されるほか、肥料や農薬等の農業用、園芸用として使用されています。その他にも、菓子や乾物の乾燥剤にも生石灰は使われています。

私たちの身近にある生石灰、しかし、この生石灰を原因とする火災が、東京都内では今年に入り3件発生していると新聞報道されました(平成21年3月末)。

生石灰は水と反応すると熱を発生し、数百度の高温になるという危険な性質があります。

また、発火した際に消火しようと水をかけてしまうと「火に油を注ぐ」ごとく、逆に反応を強め延焼拡大してしまうケースも考えられます。

正しい取り扱い、保管方法さえ守れば特に問題はありませんので、次の事に十分注意しましょう。



- 屋外での保管は極力避ける。
- 屋内で保管する時も、ドアや窓(雨水の入りやすそうな所)の付近に置かない(雨漏りにも注意!)
- 直接地面に置かず、台等の上で保管する。
- 空気中の水分で発火する可能性もあるので、袋の口は閉めておく。
- 周囲に燃える物を置かない。
- 乾燥剤をゴミに出す時にはビニールにくるむなどして、水分に触れないようにする。
- 必要以上の数量の保管はしない。

※500kg以上貯蔵・取り扱いをする場合は、消防署への届け出が必要です。

※消石灰(水酸化カルシウム)とは別物です。

## 防火クラブ紹介



掛合下町自治会  
防火クラブ(掛合町)  
会長 都間 克成

私たち下町自治会防火クラブは、戸数31戸、人口約100人の高齢化の進む小さな自治会の防火クラブです。

平成7年度に下町自治会婦人防火クラブとして発足し、活動を開始しました。発足以来、住民の防火・防災に対する意識向上を目指して、防火座談会の開催や救急法講習会の受講、火災予防運動期間中には防火旗掲揚など、様々な活動をしてきました。そのような活動が認められ、平成10年には自治体消防50周年特別表彰を受賞しました。その後、平成19年度に、婦人防火クラブから自治会防火クラブへと変革し今に至ります。

これから、更に高齢化が進むことが考えられる私たちの自治会では、特に昼間の災害に対して地元消防団の方がおられない場合が多く、自治会で初期消火の訓練なども必要になってくると思います。今年度は、消防署・消防団の協力も得て、消火器を使った消火訓練を是非行いたいと考えております。また、住宅用火災警報器の全戸設置を目標とした設置促進活動も行いたいと思います。

今後も、「自分たちの自治会は、自分たちで守る」という意識向上に努めて参りたいと思います。